



子育て支援センター リニューアル（案）

～基本計画の策定に向けて～

健康こどもみらい部

目次

- 1 センターの現状**
- 2 センターの課題**
- 3 背景として**
- 4 機能拡充について**
- 5 目指す施設**
- 6 スケジュール**

1 センターの現状

対象者 主に未就学児とその保護者

諸 室

- ・ サロン室
- ・ 託児室わたくも
- ・ 事務室



▲県内最大級のサロン室。休日には300人以上が訪れる人気スポット

- こどもを遊ばせながら、気軽に子育て相談ができる場として人気
- 子育て支援として講座開催や、家庭訪問、育児相互援助活動などを実施
- 市街地活性化の拠点「アミューあつぎ」のイメージと集客向上に寄与

利用状況

年度	R2	R3	R4	R5	R6
子育てサロン	3 3,0 8 1	4 6,3 5 4	6 1,4 9 2	6 5,4 2 0	6 8,3 2 9
託児室わたくも	1,9 2 1	2,4 6 1	2,6 1 1	3,6 8 1	4,1 7 4

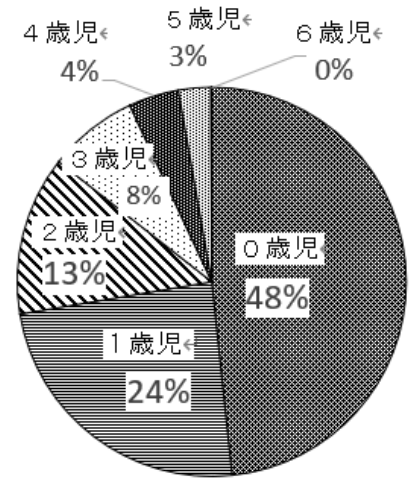
2 センターの課題

● 市民サービスとして利用者が限定的（約 9 割が 0 ～ 2 歳児）

- 幅広い年齢層が利用できる施設としての機能が必要

● 「こどもゾーン」としての有効な活用

- 子育て支援センターと合わせた一体的な活用が有効



サロン利用児の構成



▲ 屋内広場solaに配された雲のオブジェ

- ・死角が多く、こどもの施設として好ましくない
- ・スペースが無造作に仕切られ、利活用しにくい
- ・特に平日は利用者がほとんどおらず、閑散としている



● アミューあつぎの魅力の一つとしての子育て支援センター

- 施設としての更なる魅力と集客の向上を図る上で、8Fこどもゾーンの活性化が必要

2 センターの課題

● 利用者に配慮した設備の充実

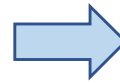
- 支援拠点として相談室の確保と、こども用トイレや授乳室（搾乳室）の使い勝手も見直しが必要

相談室



●相談に利用する多目的室

深刻な相談の場合は、こどもと保護者を一時的に引き離して相談を受けている。現状、相談室がないため、多目的室を代用している。



▲個室の相談室（イメージ）

2 センターの課題

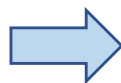
● 利用者に配慮した設備の充実

こども用トイレ



●こども用トイレ

1台のみ設置。スペースが非常に狭く、ベビーカー等と一緒に入ることができない。トイレトレーニング用の補助の手すりもない。

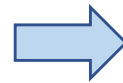


▲【参考】小鮎保育所のこども用トイレ。トイレトレーニング用として大・小便器共に手すりが備わる。

2 センターの課題

● 利用者に配慮した設備の充実

授乳・搾乳室



● 授乳室、おむつ替えスペース

授乳室は、カーテンのみで仕切られており、安心して授乳等ができない。現在は男性の利用ができない。



▲【参考】個室であれば、安心して授乳・搾乳ができ、男性も周囲を気にすることなく使用することができる。

3 背景として

➤ こども基本法（R 4）

国や地方自治体、企業や地域など、社会全体でこども・若者、子育て当事者を支援する「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組の基本的な考えを示す。

➤ こども大綱（R 5）

こどもまんなか社会の実現に向け、こども・若者のライフステージに応じた施策の重要性を提示。特に、誕生前～幼児期においては、成長の保障と遊びの充実が重要。

➤ 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（R 5）

幼児期までこそ、生涯にわたるウェルビーイングの向上にとって最重要。特に、乳幼児の育ちには「愛着」の形成と豊かな「遊びと体験」が不可欠。



キーワードは「遊び」

4 機能拡充について

昨今におけるこども・子育て支援の取組が大きく変化する中、子育て支援センターの現状と課題を踏まえ、**施設としての役割**や**魅力**、**市民サービスの向上**を目的に、必要な機能を拡充させた施設としてリニューアルする。

整備に当たり重視すべき視点

- **遊びと体験の提供**：こども大綱などの趣旨を捉え、乳幼児、特に3～5歳児に適応した遊びと体験の場づくり
- **利用者に配慮した設備**：相談室やトイレ、授乳室などの整備
- **安心・安全な全天候型の屋内広場**：死角のない安心・安全な空間、天候や気温に左右されない遊び場

▼暑さ指数3.1以上（危険レベル）の日数　〔令和6（2024）年6月～9月・海老名観測地点のデータ〕

月	7月	8月	9月	3か月間の割合
暑さ指数3.1以上	23日	27日	16日	約71.7%

5 目指す施設

気軽に相談・支援ができる機能に加え、遊びから学ぶ場や託児室、その他関連する機能を融合させた、「遊び・交流・相談・支援」を一体的に提供する子ども・子育ての総合的な支援拠点を目指す。

場所

- アミューあつぎ 8 階フロア ➤ 認知度や交通利便性、利用者の回遊性などを考慮

新たに備える機能

- 遊びと体験（プレイゾーン）

※ 0 ～ 5 歳児対象に、遊びを通じて冒険・経験・体験ができる施設

- 個別相談・支援（プライバシーに配慮した相談室）
- 交流・居場所（フリー・飲食スペース）
- 物販（おもちゃ、ミルクなどの育児グッズ、駄菓子など）
- 発表・セレモニー（イベントスペース or ミニホール）※50人程度



▲北九州市立子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」

6 スケジュールについて

令和7年度は意見交換会及びパブリックコメントなどを実施し、リニューアルの基本計画を策定する。

令和8年度に基本・実施設計を実施し、令和9年度中のリニューアルオープンを目指す。

また、工事期間中は子育て支援センターの機能を一時的に移転する予定。

全体スケジュール（予定）



担当部署：

厚木市健康こどもみらい部こども家庭センター
子育て支援第一係

所在地：

厚木市中町2-12-15 アミューあつぎ 8 F

電話番号：

046-225-2926（直通）

E-MAIL：

kosodate@city.atsugi.kanagawa.jp